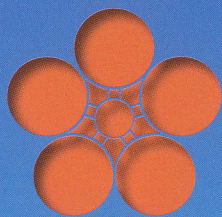


平成二十九年

御鎮座八〇〇年祭

齋行



てん ま てん じん  
天満天神

岡崎天満宮

学問の守り神

厄除・交通安全の守り神

御参拝のしおり

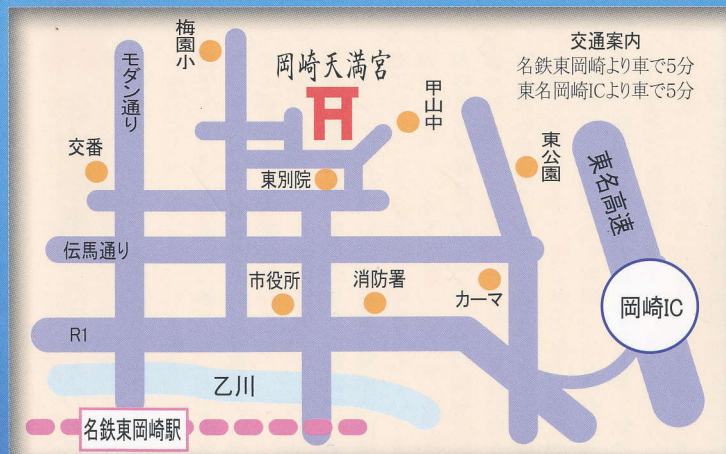


画：服部臣宏氏「岡崎天満宮雪景」

■各種ご祈禱のご案内■

入試合格・学業成就・試験合格・就職祈願  
初宮詣り・七五三詣り・安産祈願・無病息災  
交通安全・自動車祓・厄祓祈願・病気平癒  
家内安全・商売繁盛・事業繁栄・旅行安全  
成人式・神前結婚式・長寿歳祝・・・等

当神社では、毎日各種ご祈禱を受付しています。  
また、地鎮祭、竣功式、事務所開等の出張祭典や、  
赤ちゃんの命名相談も随時受け付けております。  
お気軽に社務所までお申込み下さい。



編集・発行：岡崎天満宮社務所

〒444-0015 愛知県岡崎市中町北野1番地

TEL 0564-21-4345 FAX 0564-22-8974

URL <http://www.tennjinn.com/> E-Mail [info@tennjinn.com](mailto:info@tennjinn.com)



# 御祭神

当神社は二柱の神様をおまつりしています

すがわらみちざねこう

## 菅原道真公

学業成就・入試合格の守り神  
書道上達・詩歌上達の守り神



代々の学者の家柄にお生まれになった菅公は幼少の頃より勉学に優れていました。五歳の頃「美しや紅の色

なる梅の花あこが顔にもつけたくぞある」の御歌を詠まれたと伝わっています。難関の国家試験にも合格し、次々と出世をし、右大臣にまでなりました。しかし急な出世が災いし、太宰府に左遷の憂き目に遭われました。しかしそれでも誠を貫かれたお姿は、後世多くの人の心を動かす、天神様と慕われています。

みち

## 道臣命

病氣平癒・厄除開運の守り神  
交通安全・幼児虫封の守り神



大伴氏の祖神で、神武天皇東征の折に先鋒をおつとめになり、八咫鳥（やたがらす）の先導を得て、賊を打ち破り皇軍を大和に導く軍功をあげられました。神武天皇即位の折には宮門警護の任を受け、初政務の折には邪気を祓う神事を行われました。それ故、諸々の罪穢れ、邪氣、病氣等を打ち負かすお力が信仰されています。また非常に勇敢な神様であることから、ボーイスカウトの守護神にもなっています。



今から約八百年前のことです。人皇第八四代順徳天皇の時代、建保二年（一一二四）秋、宮中に夜な夜な怪しく光る物体が飛来し、その時から、順徳天皇の皇女が病に床伏せられました。その当時、宮中警護の任に当たっていた武將・本間三郎重光は、天皇の命を受け、家来の伴隼人とともに、その怪光物を弓で射落とすことにしました。毎夜、その怪光物との格闘の末、弓の名手であった伴隼人は射落とすことに成功しました。射落としたものを良く見てみると、…その骸は野狐でした。

しかし、皇女の病は癒えませんでした。天皇は色々なことを試されました。医者に見せ、薬を飲ませ、神仏に祈り、加持祈祷も何度も何度もしました。でも、その功なく、ますます皇女の病は重くなる一方でした。病の原因もわからず、対処の方法もなく、順徳天皇は酷く御悩みになり、陰陽博士に御相談なされました。博士



の卜筮（占い）によると、これは射落とした野狐の祟りが原因であることがわかりました。博士の提言により、本間三郎重光の領地であった三河国菅生郷に野狐の遺骸を送り、日本全国・六十余州の名山の土を集め、獅子形に飯山を築き、その面を宮中の方角に望ませ、野狐の霊を慰めるために稲荷社をおまつりしました。すると、不思議なことに、皇女の病は癒え、すっかり元氣になりました。天皇は、とてもお喜びになり、稲荷社の側に瑞生山総持尼寺という尼寺を建立しました。そして、皇女御自ら、尼僧となってこの寺にお入りになったのです。建保五年（一一二七）の八月二十三日、この総持尼寺の鬼門除けとして、あの野狐を射落とした弓弦を御神体にして、本間三郎重光の祖神道臣命を勧請し、北野庄（現当神社鎮座地）に天神社を建立しました。これが当神社の御創建で、当時は伴天神とか弓弦天神と称されました。時代は下って江戸時代、元禄三年（一六九〇）のことです。江戸亀戸天神の別当職・菅原信祐という方が、大宰府天満宮の飛梅の木にて作られた菅公御神像を奉持し、大宰府より江戸

へ向かう旅の途中、岡崎本陣中根甚衛門方に一宿されました。その夜、信祐の枕元に天神様・菅原道真公が立たれ、こう仰せられました。「この岡崎の地に昔よりいいお社がある。そこに私を勧請しなさい。」

翌朝、信祐はこの神夢のことを主人に話しました。主人は「それはきっと北野の弓弦天神のことでしょう。」と言いました。この話を聞きつけた町中の人は、大変感激しました。そして、天神社の社殿を一新し、神夢の通り、あの菅公御神像を合祀し、天神様をおまつりしたのです。そして社名を岡崎天満宮と改め、現在に至っています。

天満天神とも当神社は称します。これは、天満大自在威徳天神の略で、天に満ち満ちて大自在の威徳をお示し下さる神様という意味です。天神様は清きまことの心でお祈りすれば、願い事すべてを叶えて下さいます。是非御家族お揃いで御参拝賜りますようお願い申し上げます。



- 一月一日 **元旦祭**  
新年の始めに天神様にお参りし、天下泰平・五穀豊穣をお祈りします。午前零時からの初詣参詣者には、厄年各位により甘酒等が振舞われます。
- 一月一日〜七日 **うそかえ神事**  
天神様が愛された鷹をかたどったお守りを年の始めに替えることにより、家内安全を祈願する神事で、災害を吉事に替え、うそをまことに替えるという意味があります。
- 一月二十五日 **初天神祭・新入学特別祈願祭**  
天神様のご縁日は毎月二十五日。新年最初の二十五日が初天神に当たります。初天神の日にお参りすると特にご利益があるといわれ、毎年多くの受験生で賑わいます。
- 二月三日 **節分祭（豆まき）**  
厄除招福・家内安全を祈願し、追難祈祷と豆まきを行います。毎年、二千人を超える参拝者で賑わい、空クジ無し。の福引は大好評です。
- 梅花開花期** **梅まつり**  
天神様が愛された梅の開花期に合わせて斎行します。この時期、境内梅園には梅の馥郁たる芳香が漂います。

三月二十五日

**春季大祭**  
**春季奉賛会祈祷祭**

天神様の御命日（旧暦二月二十五日）にちなんだ大祭です。天神様のご威徳を偲び、皇室の弥栄と我が国の繁栄、そして世界平和を祈念し、五穀豊穣、諸産業の繁栄、氏子崇敬者の家内安全・無病息災の祈りを込め、更なるご加護を祈念します。また奉賛会祈祷祭では、当神社奉賛会会員各位の家内安全・事業繁栄を祈願致します。

四月第一日曜

**勸学祭**

新入学生の学業成就・交通安全を祈願し、ランドセルのお祓いを行います。

五月二十五日

**英霊神社祭**

当神社氏子出身で、大東亜戦争を始め国難に殉じられた護国英霊をおまつりする当神社末社の英霊神社の一年に一度の大祭。御遺族各位参列の下、厳肅に斎行されます。

六月二十五日

**菅公生誕祭**

天神様の御誕生日をお祝いするお祭りです。  
「夏越の祓い」ともいい、夕刻五時より、ご神前に設けた茅の輪をくぐり、無病息災を祈念します。併せて、交通安全祈願の自動車輪くぐりも斎行します。

九月二十三日〜二十六日

**秋季大祭（例祭）**  
**秋季奉賛会祈祷祭**

当神社で一番大切な大祭です。岡崎三大祭の一つです。神恩感謝の各種奉納余興が開催され、氏子各町からの花火長持ちや子ども神輿の練りこみもあります。また、多くの露店が建ち並び、大勢の参詣者で賑わいます。

十一月一日〜三十日

**七五三祭**

男子三歳と五歳、女子三歳と七歳という幼児の成長段階の節目に当たり、多くの子供たちが天神様にお参りし、ご加護をお祈りします。

十二月二十五日

**新嘗祭**

新穀を感謝するお祭りです。五穀豊穣を感謝し、商工諸産業の繁栄を感謝します。

十二月三十一日

**大祓式・除夜祭**

一年間、天神様のご加護により、年末を迎えられた喜びを申し上げます。

毎月二十五日

**月次祭**

天神様のご縁日である二十五日に、天下泰平・五穀豊穣・家内安全・事業繁栄を祈願します。

毎朝六時

**日供祭**

毎朝六時にその日の御供物を奉り、一日のご加護を祈念します。日供祭は敬神の念のある方なら、どなたでもご参列できます。

# 略年譜

- 建保5年(1217) 勅命により、道臣命を勧請し、天神社を建立  
 元禄3年(1690) 菅原道真公を合祀、社名を岡崎天満宮と改称  
 享保5年9月29日 殿宇修造遷座  
 宝暦5年8月3日 殿宇修造遷座  
 安永7年8月4日 殿宇修造遷座  
 寛政6年6月 殿宇修造遷座  
 明治5年9月18日 郷社に列格  
 明治9年6月 本殿を6間後方へ移転、玉垣等を新設  
 明治26年9月 本殿修復、拝殿・社務所新築  
 明治40年10月26日 神饌幣帛料供進神社に指定  
 昭和8年9月25日 御大典記念事業として、本殿・幣殿を新築  
 (御本殿の棟木に神宮式年遷宮の御古材を賜る)  
 昭和15年2月25日 皇紀2600年記念事業として、社務所を新築  
 昭和20年7月20日 岡崎空襲により、神楽殿以外の社殿悉く全焼  
 昭和21年9月25日 本殿(仮殿)を新築、神楽殿を移転修復し拝殿とする  
 昭和25年8月30日 幣殿・社務所を新築  
 昭和27年11月24日 宗教法人法により、宗教法人岡崎天満宮を設立  
 昭和33年9月23日 本殿造営、遷座祭を齋行  
 昭和36年2月25日 齋館新築  
 昭和44年2月25日 末社英霊神社を造営  
 昭和45年3月25日 幣殿・拝殿・神饌所を新築  
 昭和47年3月25日 境内梅林を造園  
 昭和50年9月25日 手水舎を新築  
 昭和52年4月25日 岡崎天満宮奉賛会を結成  
 昭和53年9月25日 正面参道補修工事を完工  
 昭和56年3月25日 神札授与所を新築  
 平成5年9月25日 御鎮座777年祭奉祝玉垣工事並正面参道石畳工事  
 平成8年12月25日 奉賛会結成20周年記念事業、神牛奉納  
 平成11年3月25日 手水鉢改修工事完工  
 平成11年6月25日 今上陛下御即位10年奉祝、西参道入口社標建立  
 平成11年7月20日 岡崎天満宮敬神婦人会を結成  
 平成12年9月12日 東海集中豪雨により正面参道東の石垣崩壊  
 平成12年9月22日 同復旧工事完工  
 平成13年8月25日 社務所大広間空調工事完工  
 平成14年3月25日 菅公御神忌1100年大祭、境内梅園整備事業完工  
 平成18年11月25日 奉賛会結成30周年記念事業 牡丹園を造園  
 平成19年9月25日 奉賛会結成30周年記念事業 本殿瑞垣改築工事完工  
 平成20年9月25日 奉賛会結成30周年記念事業 境内整備事業完工

## ■岡崎天満宮奉賛会入会のご案内■

年会費 1口 1,200円(月額100円)  
 (2口以上の御協力をお願いしています)

当神社では、崇敬者組織である奉賛会の会員を広く募集しています。奉賛会会員の皆様の御芳名簿は御本殿に納められ、毎朝の日供祭で家内安全・無病息災を御祈念申し上げます。さらに毎年の神札無料授与や奉賛会祈禱祭の御案内などの特典もございます。是非多くの皆様に天神様との御神縁を深く結んでいただきたいと存じます。

入会方法等、詳細は社務所までお問い合わせ下さい。

# 境内案内図



▼うそ ▲うそ塚



▼奇跡の松



うそ(鶯)は天神様の可愛がられた鳥で、昔から「嘘を食べてくれる」とか「うそをまことに変えてくれる」「災い事をうのように吉事に変えてくれる」という信仰があります。当神社では毎年正月に「鶯替神事」を斎行し、この鳥をかたどったお守りを授与しています。一年のおつとめを終えられた「うそ」は境内の「鶯塚」に鄭重にお納めいたします。

御本殿西脇庭の松は、戦災後、先々代宮司の真摯な祈りが通じ、奇跡的に真冬に芽生えた「奇跡の松」です。当神社では戦災復興の象徴の松として大切に育てています。遠方からこの松を一目見ようと参拝される方も数多くいらっしゃいます。